

ピアノの詩人と呼ばれるショパンは、ピアノを通して彼独特の芸術世界を表現しました。詩情豊かな旋律、ドラマティックな曲想、祖国ポーランドの舞曲の諸要素を素材に、まさに、ロマン派時代に生きた天才音楽家です。

名取典子



名取典子(ピアノ)

桐朋女子高等学校音楽科卒業。ドイツ国立ミュンヘン音楽大学、同大学院マイスタークラスピアノ専攻卒業、ピアノ室内楽マイスタークラスでも学ぶ。DAAD(ドイツ学術交換局)より卒業奨学金を受ける。その後、ザルツブルク モーツァルテウム音楽院で研鑽を積む。ドイツ演奏家国家試験、音楽教師国家試験に合格。在独中、イタリアパルガモ音楽祭で1位受賞しイタリア各地でリサイタル。その他ドイツ、スイス、オランダなどヨーロッパ各地でコンサートに出演。バイエルン放送局オーディションに合格し、同放送局出演。現在は、定期的にソロリサイタル、シリーズ「名曲の宝石箱」、「マーノジョイントコンサート」の開催等、各地で活発に演奏活動を行っている。



瀬尾美智子(ソプラノ)

東京藝術大学卒業。川崎賞音楽コンクール入賞。オペラ「コシ・ファン・トゥッテ」(モーツァルト没後200年記念神奈川公演)でフィオルディリーゼ役、「シンデレラ」(マスネ作曲・本邦初演)でノエミ役、「アマールと三人の王様」で母役、他「カルメン」「フィガロの結婚」「魔笛」「ファウスト」等のオペラで主要な役を演じる。オラトリオ、「第九」のソプラノソリスト、またコンサートを各地で開催。1995年にボン(ドイツ)、1998年、2002年にはシュトゥットガルト(ドイツ)においてコンサートに出演。現在、横浜みなとみらいホールを拠点にして、「あなたの歌、わたしの歌」(日本の歌を中心に)、「吟遊詩人」(外国の歌を中心に)の二つのコンサートを展開している。
横浜シティオペラ、日本演奏連盟、二期会、各会員

ショパンに歌曲がある事はあまり知られていません。彼はその時々的心情に添った母国ポーランドの詩人の詩を選んで曲をつけました。芸術性高いピアノ曲に比べ曲はシンプルですが、『人間 ショパン』をより身近に感じられると言えるでしょう。
どの曲をとっても珠玉の作品ばかりです。

瀬尾美智子

ショパンの愛したピアノ

プレイエル Pleyel 1840年製 80鍵盤 (ナトリピアノ社 調律・管理・所蔵)

ショパンは20年間の半生をパリで暮らした間プレイエルのピアノを好んで使用したと伝えられています。その愛器はワルシャワのショパン協会博物館に所蔵されています。また国立パリ高等音楽院の楽器博物館にも所蔵されています。多くの曲を創り出した同じ型の同じ時代のピアノで、当時の音そのままを聴く事が出来る逸品です。

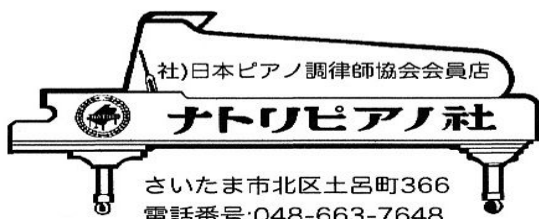
フレデリック・ショパン(1810~1849)Frédéric François Chopin

「私は、気分のすぐれない時には音がすでに完成されていると思うエラールのピアノを好んで弾く。しかし、体調が良くて自分の音を創り出すかに溢れている時はプレイエルのピアノが一番だ。」

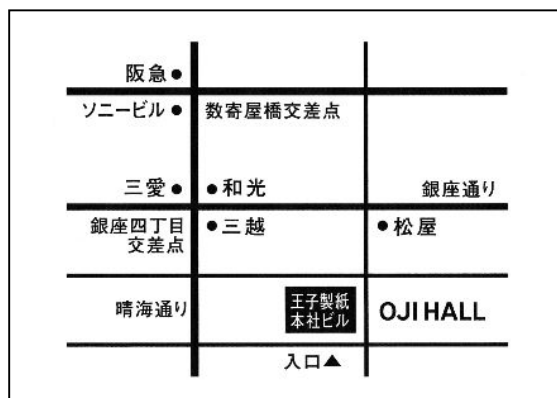


NATORI Classic Piano Museum 始動!

1台1台個性をもって生まれたピアノ、愛着を持って安心してお使い頂ける様、調律・調整・修理~選定・コンサート等ピアノに係る様々な事柄に対処致します。
「もっとピアノとコミュニケーション」
そんな思いを感じたら、私たちとの長い年月のお付き合いの始まりです。



日本、ヨーロッパ~世界中のピアノを取り扱います。
ご相談はお気軽に! mail : piano.natori@nifty.com



王子ホール 東京都中央区銀座 4-7-5

- JR 有楽町駅下車・銀座口から徒歩7分
- 地下鉄銀座駅下車・A12 出口から徒歩1分
- 地下鉄銀座一丁目駅下車・9 出口より徒歩5分
- 地下鉄東銀座駅下車・A2 出口から徒歩2分